

ISO/IEC 8859 とは、ISO と IEC が定めている 1 バイトの文字コード規格です。

## 規格の構成

第 1 部から第 16 部まであり（ただし第 12 部は欠番）、それぞれが別個の符号化文字集合を定義しています。他の ISO 規格や JIS と同じく、部の番号は規格番号の後にハイフンで続けて記します。最もよく知られている部は、西ヨーロッパ諸言語向けの第 1 部、すなわち ISO/IEC 8859-1、通称 Latin-1 です。

各部は概ね、西欧や中欧、北欧などのような地域ごと、また、キリル文字、ギリシャ文字、タイ文字といった文字体系ごとに分かれています。ただ、同じ地域向けの部を改めて作り直しているケースもあります。例えば、西欧向け 8859-1 を作り直してユーロ記号などを入れた 8859-15 があります。この場合、作り直す前の部も廃棄されずに併存しています。

各部の文字レパートリーは排他ではなく、例えば第 1 部と第 2 部とで重複する文字があったりしています。

## 符号の構造

8 ビットの 1 バイトコードです。

- ・ GL 領域 (0x20-0x7F) は、ISO/IEC 646 国際基準版 (ASCII と同じ)
- ・ GR 領域 (0xA0-0xFF) には、ASCII にはないラテン文字やギリシャ文字、キリル文字などの集合を配置します

## JIS X 0213 との関係

JIS X 0213 は、漢字集合 1 面の中に、ISO/IEC 8859 の第 1 部と第 2 部の文字全てを含んでいます。他の部の文字も、全てではないにしても複数含んでいます。

## 関連項目

- ・ ISO/IEC 8859-1 - 西欧諸言語向けのラテン文字を収めた部。
- ・ ISO/IEC 8859-2 - 中欧諸言語向けのラテン文字を収めた部。